

| 応急措置   | 保護具  | 取り扱い上の注意事項   | 人体に及ぼす作用   | 名称         |
|--|--|--|--|------------|
| <p>◎目に入った場合 流水で十五分間以上洗い、眼科医の処置を受ける。</p> <p>◎皮心についた場合 石綿の繊維の刺激で皮心がかゆくなり、皮心炎を起すことがあるが、そのような場合は医師の処置を受ける。</p> | <p>◎電動ファン付き呼吸用保護具または防じんマスク(使い捨てマスクを除く)、保護めがね、保護衣(作業のレベルにより作業衣)、シューズカバー、手ぶくろ。</p> | <p>◎取り扱いによって発じんする場所では可能な限り装置を設ける。</p> <p>◎建築物の解体等工事において、石綿含有建材を取り扱う作業では、電動ファン付き呼吸用保護具または適正な防じんマスクの使用により石綿粉じんの吸入をさけること。</p> | <p>◎これに伴って気管支や肺胞の壁が増殖し、肺の下部に閉塞性細気管支炎が起り、気管支拡張、肺気腫、無気肺などに進行する。</p> <p>◎石綿粉じんが肺内でたん白質と結びついて黄褐色の連珠状の石綿小体を作るため、これがたんの中に見つかれば石綿粉じんを吸入した証拠になる。</p> <p>◎せき、たん、呼吸困難、食欲不振などが起きる。</p> <p>◎肺がんが合併するといわれる。胸膜の肥厚した所には中皮腫(がんの一種)が多発する。</p> | <p>石 綿</p> |